

上村淳之
文化勲章
受章記念

こころの花鳥画 上村松篁・淳之展



上村淳之「双鶴」平成9年(1997)



上村松篁「兔1」昭和62年(1987)

2022年12月6日(火) — 2023年2月5日(日)

【休館日】月曜日(但し、12月27日(火)〜1月4日(水)は休館、1月9日(月・祝)は開館し、翌10日(火)休館 【開館時間】10時〜17時(入館は16時まで)
【入館料】大人(高校生・大学生を含む)820円、小学生・中学生410円 【主催】公益財団法人松伯美術館、産経新聞社
● 館長 上村淳之による美術講演会 1月14日(土)14時〜15時 ● 美術対談 上村淳之×榎原吉郎 2月4日(土)14時〜15時

松伯美術館

SHOUHAKU ART MUSEUM



〒631-0004 奈良市登美ヶ丘2丁目
1番4号 Tel.0742-41-6666

松伯美術館 検索

松篁・淳之の花鳥画は、私たちの日常の空間を絹や紙の上に再現するものではありません。そこに描かれているのは、画家の心の中にも創られた美しい世界です。それゆえ、去年写生した花を今年も写生するのです。画家の心の成長とともに、新たな美が見えてくるというわけです。デッサン・写生とは、対象の形を正確に写すことが目的ではなく、対象の本質を把握し、自分自身のところの内面を確認する作業なのです。

絹や紙に岩絵具を塗っているから日本画である、材料でしか日本画を定義できなくなっている現代ですが、松篁・淳之は、これこそが東洋画の本質であると、鳥や花と共に在る世界を描き続けてきました。

その画面を構成するのが、余白―具体性を持たない空間、淳之の言う「象徴空間」です。この象徴空間は気配であり空気であり、背後に目にみえないもの、実在や真理や精神といったものを含んでいます。松篁のころ、淳之のころから創造された美しい世界を堪能していただきます。

●館長 上村淳之による美術講演会

【日時】1月14日(土) 14時～15時
【申込締切】12月21日(水) 必着

●美術対談

上村淳之×榊原吉郎氏
京都市立芸術大学
名誉教授

【日時】2月4日(土) 14時～15時
【申込締切】1月17日(火) 必着

講演会・美術対談いずれも事前申込による抽選制

【場所】松伯美術館展示室

【座席定員】50名(座席指定)

【聴講料】無料、但し入館料が必要

【申込方法】往復はがき「往信裏面に、①美術講演会または美術対談 ②郵便番号 ③名前 ④住所 ⑤電話番号 ⑥参加希望人数(2名まで)」

※美術講演会、美術対談のお申込みは別々に必要です。

※はがきに記載された個人情報、本館事のお申し込みのみに使用し、厳正にお取り扱いいたします。



上村松篁「雁金」昭和57年



上村松篁「白梅」平成7年



上村松篁「真鶴」昭和55年



上村淳之「飛鴨」昭和61年



上村淳之「蓮池」平成12年



上村淳之「白鷹」平成13年

上村松園 特別展示

「人形つかい」明治43年
「暮秋」昭和18年
「雪」昭和15年頃



上村松園「人形つかい」明治43年

松篁の兔が いっぱい

令和5年の
干支はうさぎ



松伯美術館は、Googleが提供するGoogleArts&Cultureに参加しています。当館所蔵作品の高解像度画像や360°のパノラマ画像「ミュージアムビュー」で館内の様子をご覧ください。

<https://artsandculture.google.com/> ▶ 検索

松伯美術館「友の会」 会員募集中!

無料入館ほか様々な特典をご用意、皆さまのご入会をお待ちしております。

交通 近鉄奈良線「学園前駅」北口バスターミナル⑤・⑥番のりばよりバス約5分、「大洲橋(松伯美術館前)」下車、大洲橋を渡った右側。
※駐車台数に限りがあるため、できる限り電車・バスでお越しください。



入館者プレゼント

上村淳之 文化勲章受章記念ポストカード



本展覧会開催期間中、ご入館の皆様にお1人様1枚「四季花鳥図」をデザインしたポストカードをプレゼントします。